

# 諏訪地方の 経済概況 速報

2016.10

2016年9月末調査／2016年10月28日発行

SUWA AREA  
ECONOMIC  
OVERVIEW



諏訪信用金庫  
SUWA SHINKIN BANK

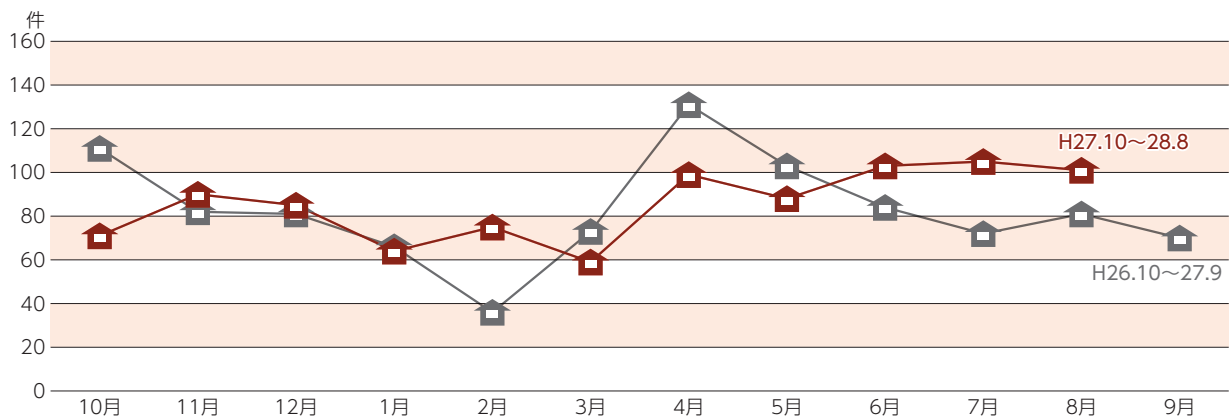
## 諏訪地方の概況

9月は、大手企業が円高の逆風の中、原油価格、海外情勢、国内消費低迷などの影響を受けた。さらに台風や長雨の天候不順は全国的に影響をおよぼし、地方経済にも停滞感が見られた。諏訪地方では、製造業が総体的には横ばい状況で推移しているものの、取引先企業の状況などから先行き不透明感もある。非製造業は商業と観光が、天候不順の影響を強く受けた。建設業は御柱祭期間に滞った受注確保への動きが強まっている。総務省発表の65歳以上の人口と高齢者の就業者数が過去最多を更新する一方で、企業には人手不足感がある。諏訪地方でも有効求人倍率が近年で最高値となり、企業にとって人材確保が重要な課題となっている。

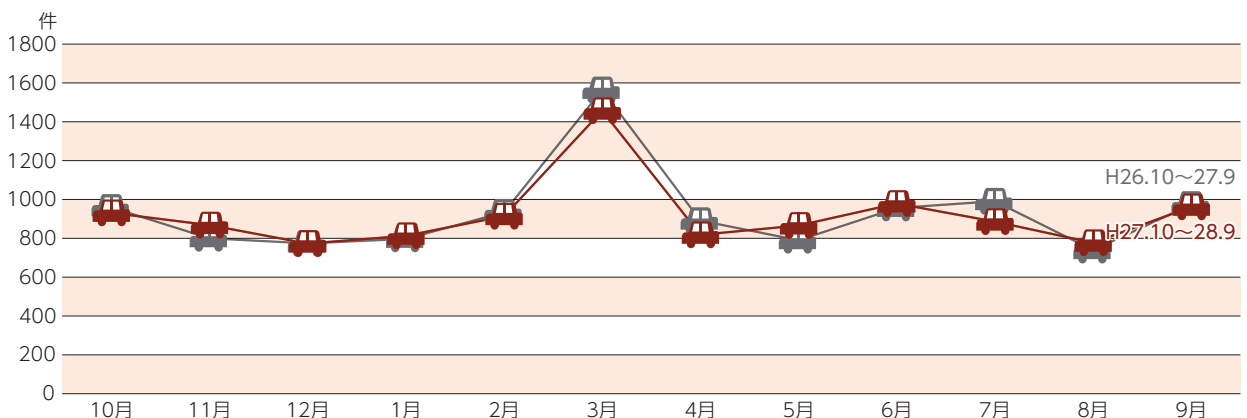
(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

		実数	前年同期比	
有効求人倍率【8月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.56倍	0.25ポイント	
手形交換高【9月】(諏訪手形交換所扱)	枚数	5,011枚	△544枚	
	金額	6,174百万円	△866百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	0枚
		金額	0千円	0千円
電力使用量【9月】(中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	41,203MWh	7.0%	
	高圧電力計	92,649MWh	1.0%	
	合計	133,852MWh	2.8%	
車庫証明取扱件数【9月】(諏訪地方合計)		962件	△1.2%	
新設住宅着工戸数【H28年4~8月】(諏訪管内)		496戸	5.3%	

### ■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



### ■車庫証明件数の推移



大手輸出企業は、想定レートを超える円高が重荷となり、中国や新興国経済の下振れ懸念から先行きに不透明感があり、地方の中小企業にも停滞感がおよんでいる。諏訪地方では、輸送用機械の自動車部品関連は、円高が懸念材料となる中で、消費増税の先送りで駆け込み需要が見込めず、燃費データ不正問題の影響も尾を引いている。ただ、車種によっては受注増加への動きが出ている。金属製品加工は、取引先によって受注の増減の波が大きい傾向が続き、安定的な売上確保を目指して取引先を増やす企業がある。一般機械は、現在だけでなく将来的にも製造業離れや人口減少などで人手不足が続くことを想定した省力化関連が好調に推移している。電気機械は新型スマホの発売に伴う生産があるが、以前の勢いはなく、代わって高機能化を進める中国メーカー向けへの期待がある。精密機械は監視カメラ関連に在庫調整などによる一服感がある。

<b>金属製品</b> プレス、メッキ、熱処理など	自動車関連は業界に停滞感がある中で、企業によって格差が見られる。三菱自動車関連の受注が止まった企業、全体的に受注の減少が続く企業、コストダウン要請が強く先行きに不透明感を増す企業がある。その一方で、既存取引先が動き出したことに加え、受注が回復し他地域の製造業者が増産に対応できない仕事が回ってきた企業がある。
<b>一般機械</b> 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など	省力化機械は軽搬送機や検査機などの受注が旺盛。海外工場向けでも自動化による安定生産や増加する人件費削減のため、機械装置関連の受注が増えたと見る企業もある。半導体製造装置関連はしばらく安定見込みで、携帯電話関連も新機種発売などの好影響がある。ただ、小ロットの短期物が多い。工作機械は、アジア向けが依然低調で、北米の売上も落ち込んだ企業がある。
<b>電気機械</b> 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	光通信、携帯電話、LED関連は好調に推移している。プリンターは機種によって差があるものの、旺盛な受注も見られる。米アップルの新型iPhone7に向け、日本メーカーは生産を本格化しているが、以前のような勢いはないと見られている。半導体は用途が広がり、3次元メモリーへの世代交代もあって増産予想がある。取引先によって受注の増減が大きく、今後の動向が不透明な状況もある。
<b>輸送用機械</b> 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車部品関連は燃費データ不正問題の再燃で、三菱自動車関連の受注に回復が見えず、重機関連部品加工もやや減少傾向になるなど、三菱ブランドに影響が出ている。一方でこの落ち込み分を取り込む動きのメーカーがあるほか、海外工場で好調な車種、新型車の先行予約が想定を上回る車種を持つメーカーなどがあり動きが異なる。全般的にコストダウン要請がある中で、自社開発の全自動化機械設備で人件費を削減した企業や熊本地震でストップしていた取引先からの受注が回復した企業がある。船外機は世界経済の縮小に伴い、市場が縮小傾向となっている。
<b>精密機械</b> 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	監視カメラ部品関連は、中国の設備投資減速など工作機械関連の停滞で、工作機械監視カメラに落ち込みが見られる。一部在庫調整もあり一服感があるが、年末に向けて回復が見込まれる。レンズ関連は地元企業からの発注が増加傾向となっている。自動車部品関連での新規受注も見られる。医療用圧力計は一時特需があったが、現在は正常値からやや減少気味となっている。
<b>製造業全般</b>	寒天の売上は、県内各地の道の駅の売上が増加傾向。ただ、今後必要となる季節労働者の確保が難しくなっている。みそは9月から年末に増加に転じるパターンで今年も同様な動きとなっている。インスタントみそ汁の具材となる原料の大豆やワカメ、ネギなどの仕入れは円高の恩恵を受けている。衣料は秋冬物の受注が低調で、業界全般も低水準で推移している。

## 商 業

### 「天候不順が価格や客足などに影響」

9月は、台風や長雨が各方面に影響をおよぼした。農作物は出荷量が減少し、店頭価格が高騰。特に野菜は例年の2倍近くとなった。天候不順で外出を控える傾向もあり、小売店や飲食店の客足に影響した。今年は経団連が、来春入社予定の企業の選考解禁を8月から6月に前倒し、9月に内定式があったことで、衣料ではスーツ類に動きがあった。自動車販売(軽を除く)は、諏訪地方の9月の車庫証明件数が962件で、前年同月比12件減少(△1.2%)した。4月からの累計では前年同期比53件の減少(△1.0%)となっている。休日は小宮御柱祭で来店客が減少した。

衣料	内定式に向け、就活時とは雰囲気を変えた男女スーツやネクタイ類に動きがあった。カジュアル衣料品店の新規開店も既存店に影響した。
食料品	台風の影響で国内シェアの多くを占める北海道産のジャガイモやタマネギが値上がりした。県内産のレタスやブロッコリーも出荷量が減少した。鮮魚も近海物の品薄が続き価格が高止まりした。牛肉、精肉関連も値上がりした。
家電製品	新型スマートフォンは前機種に比べて出足が鈍い。残暑が厳しくなかったため、前年に比べてエアコンが伸びなかった。
自動車	県内の9月の新車新規登録台数は、登録車が2ヶ月連続で増加し、軽自動車は21ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比313台減少(△2.9%)の10,485台で、13ヶ月連続で減少した。
ホームセンター	小宮御柱祭と天候不順が客足に影響した。園芸用品は長雨で作物の生育が悪いことから、肥料や殺虫剤などが伸びなかった。

## 観光・サービス業

### 「記録的な天候不順でキャンセル相次ぐ」

9月の諏訪地方は、記録的な天候不順となった。諏訪の月間降水量は平年の2.2倍で、昭和20年以降9月としては2番目の多さとなり、日照時間は平年の75%程度で平成元年以降最少だった。この影響で、高原の観光地ではキャンセルが多く、宿泊客の入り込みが減少した。前年9月は大型連休のシルバーウィークとなり好天だったため、今年の落ち込みは前年比で大きい。上諏訪温泉では天候不順に加え、サマーナイトファイヤーフェスティバルフィナーレがなかったことも影響した。長距離バス規制で、バスツアーの参加費が高騰し、団体利用客は減少傾向が続いている。秋の紅葉シーズンに向けた予約状況は例年より鈍い。

上諏訪温泉	9月の宿泊人数は前年同月に比べて減少した施設がほとんど。構成人員別では個人客だけが前年を上回る状況で、施設別では前年同月比70%台～110%台だった。方面別では、好調だった関東、東京、東海方面が前年を下回り、関越方面のみ前年を上回った。インバウンドも前年同月に比べて大幅減少した。
蓼科・白樺湖・車山等	白樺湖で月間降水量が過去最多を更新し、原村では日照時間が長野地方気象台観測史上2番目の少なさだった。週末に天候が崩れたこともあって各施設では集客に苦戦した。台風の天気予報でキャンセルが出た施設が相次いだ。山岳の天候が荒れていたため、登山客も大幅減少した。
下諏訪温泉	宿泊、日帰りとも減少し、団体キャンセルの落ち込み分が回復しなかった。小宮祭や各種団体の宴会需要はあるが、秋の予約状況は例年に比べて遅い。
諏訪大社	上社・下社合わせた9月の参拝者数は約6万5千人。前年同月比では約4千人の増加(6.2%)となった。

## 建設業

### 「国県の発注量増加の一方で人手不足」

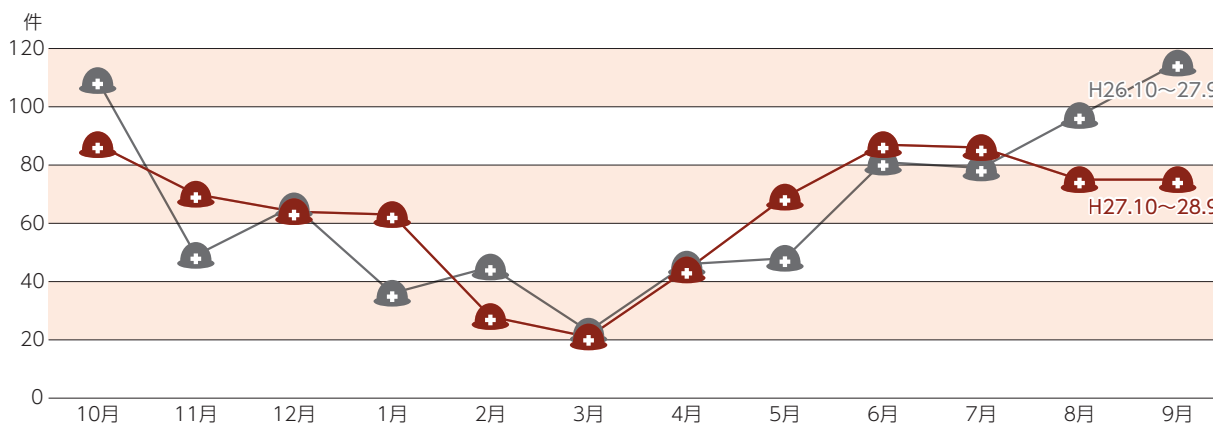
9月の市町村からの受注工事は合計75件、642百万円となった。前年同月に比べ、件数は40件、契約金額は757百万円減少した。国県関係の平成28年4～9月の累計公共工事（地元業者受注分）は前年同期累計比で件数、契約金額とも増加している。民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数が101戸で、前年同月比20戸増加（24.7%）し、3ヶ月連続で上回っている。平成28年4～8月の累計も496戸で、前年同期比25戸増加（5.3%）した。小宮御柱祭が終息に向かい、受注確保への動きが強まっている。今年度は国の上期80%契約推進の指導もあり国県の発注が増えているが、一方で人手不足や人件費上昇の課題も見られる。

<b>公共工事</b>	<p>9月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は諏訪建設事務所25件、林道治山工事関係2件、農地整備課1件、県警察3件の合計31件で、契約金額は787百万円だった。平成28年4～9月の累計は90件、3,088百万円で、前年同期の累計比で件数は13件、契約金額は359百万円増加（13.2%）した。</p> <p>市町村からの9月の受注工事は、建築工事6件68百万円、土木工事および下水道工事48件428百万円、その他工事21件146百万円となった。前年に茅野市などで大型工事があったため、前年同月比では減少した。</p>
<b>民間工事</b>	<p>諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は10戸増加の69戸、「貸家」は22戸増加の22戸、「分譲」は6戸増加の10戸、「給与」は18戸減少の0戸となった。長野県内の8月の新設住宅着工戸数は1,019戸で、前年同月比21.0%増加した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が600戸で4.3%増加、「貸家」は326戸で86.3%増加、「給与」は1戸、「分譲」は92戸で26.0%増加した。</p>

#### ■諏訪地方の7月の新設住宅着工状況

区分 市郡名	合計 戸数	前 年	利用 関 係 別								構 造 別			
			持家	前年	貸家	前年	給与	前年	分譲	前年	木造	前年	非木造	前年
岡谷市	13	11	9	11	0	0	0	0	4	0	13	11	0	0
諏訪市	27	11	17	10	10	0	0	0	0	1	23	10	4	1
茅野市	43	41	26	21	12	0	0	18	5	2	41	21	2	20
諏訪郡	18	18	17	17	0	0	0	0	1	1	16	15	2	3
合 計	101	81	69	59	22	0	0	18	10	4	93	57	8	24

#### ■公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）

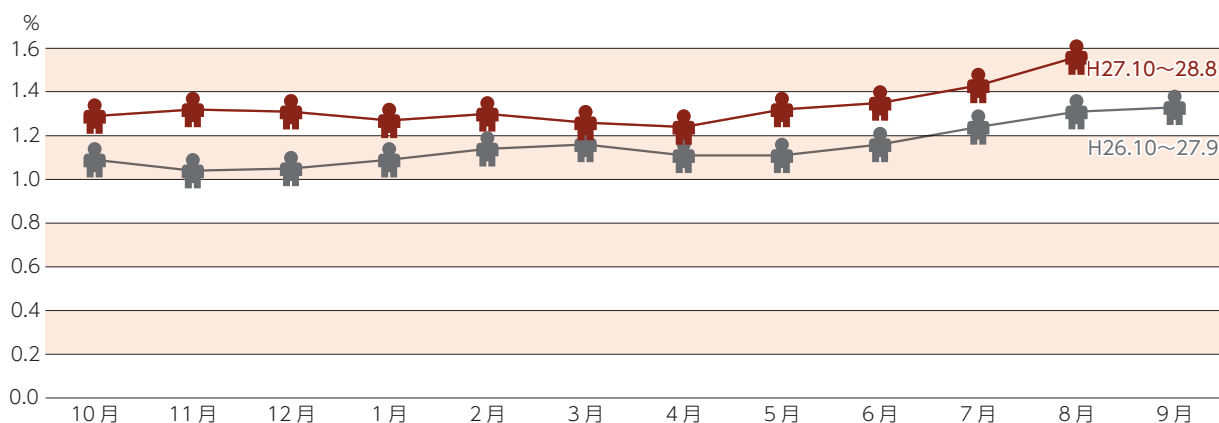




諏訪地方の8月の有効求人倍率は、前年同月を0.25ポイント上回り、前月を0.13ポイント上回る1.56倍となった。平成20年4月以降、初の1.5倍台で前月の最高水準を更新した。1倍台の維持は29ヶ月連続で、前年同月を上回るのは39ヶ月連続となっている。企業の中には、諏訪地方の人口減や製造業従事者の減少が一因として、将来を危惧する声もある。長野県平均は1.42倍で前月を0.02ポイント上回った。県内4ブロック全てで34ヶ月連続前年同月を上回り、26ヶ月連続で全国平均を上回っている。全国平均は前月と同率で、3ヶ月連続の1.37倍と高水準を維持した。一方、8月の完全失業率は3.1%で6ヶ月ぶりに前月より悪化したが、21年前の低水準で推移している。

諏訪地方の新規求人数（全数）は1,727人で、前年同月比169人増加（10.8%）した。要因別では「業務量増大」「欠員補充」が増加し、「継続する人員不足」「創業・新分野展開」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は「生活関連サービス・娯楽業」「製造業」が増加し、「建設業」が減少した。新規求職者数は708人で、前年同月比73人減少（△9.3%）した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は20人で前年同月比64人減少、前月比では9人減少した。

### ■有効求人倍率の推移



### 《企業のひとこと》

- 海外の板金技術が上がり、海外への流出が見られる。現在、日本にある板金加工企業は10年後には半減するのではないか（金属製品製造業）。
- ブレグジット問題で生産が減少していた欧州向け製品が動き出した（輸送用機械製造業）。
- 自動車業界は全般的に重苦しい雰囲気、我慢する時と感じる（輸送用機械製造業）。
- 最近、新卒者は大手に流れるケースが多く、内定辞退者があり人材確保が難しい（輸送用機械製造業）。
- 大手企業は設備投資に積極的で、年内は十分な受注がある（一般機械製造業）。
- 受注量が増加すると、それをまかなうため、人材確保や設備投資が必要となり、その結果、財務内容が苦しくなることもある。適量を確保したい（精密機械製造業）。
- 輸出より輸入が多いので円高は歓迎（食品製造業）。
- 小宮御柱祭の期間中は食品関連が増加するが、日中の来店客は減少した（小売店）。
- 天候不順で常に視界が晴れず、近年にない痛手を受けた。紅葉は今後の寒暖差で色づきがよくなることを期待する（観光業）。
- 中央で建設業は上向いていると言われるが、地方ではそれほど実感はない（建設業）。
- 受注が増加しているが、発注と工事開始時期にずれがある（建設業）。

# 長野県の金融経済動向

(2016年10月3日) 日本銀行 松本支店

— 2016年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

## 長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は緩やかに減少している一方、住宅投資は持ち直しの動きがみられる。この間、設備投資は緩やかに増加しているものの、企業の投資姿勢は幾分慎重化している。また、個人消費は一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している。

以上のような最終需要のもとで、生産は新興国経済の減速の影響などから、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得は、全体として着実な改善が続いている。

なお、企業の景況感をみると、製造業で改善となった一方、非製造業で悪化となった。先行きは製造業で悪化、非製造業で改善を見込んでいる。

## 生産

半導体関連・電子部品等では、スマートフォン向けは幾分持ち直しているものの、生産用機械向けで中国など新興国経済減速の影響がみられることから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

自動車関連では、北米向け等の海外需要が堅調なものの、国内向けで一部に弱さがみられることから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

機械・同関連部品等では、工作機械は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復しているものの、中国など新興国経済減速の影響がみられる。バルブも、生産は高めの水準で推移しているものの、新興国経済減速の影響などがみられる。計器も、生産は高めの水準で推移しているものの、建設機械向けを中心に新興国経済減速の影響がみられる。成形機は内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。

飲料では、生産は横ばい圏内で推移している。

## 個人消費

県内大型小売店(百貨店、スーパー) 売上高(当店調べ〈店舗調整前〉)をみると、8月は一部に弱さがみられるものの、底堅く推移している。

家電販売は、8月は前年を下回った。

自動車販売は、8月は前年を下回った。

## 公共・住宅投資

公共工事請負金額をみると、8月は県の発注分が増加したものの、国、市町村、独立行政法人等の発注分が減少したことから、全体では前年を下回った。

住宅着工戸数をみると、8月は持家、分譲、貸家が増加したことから、前年を上回った。

## 雇用・所得

有効求人倍率をみると、8月は新規求人数が増加したことから、上昇した。所得面では、7月は一人当たり名目賃金および常用雇用者数が前年並みとなったことから、雇用者所得も前年並みとなった。

## 輸出・企業収益・設備投資

輸出は、16年度は前年度を下回る計画となっている。

企業収益は、16年度は前年度を下回る計画となっている。

設備投資は、16年度は製造業を中心に前年度を上回る計画となっている。

## 物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、8月は光熱・水道や交通・通信が下落したことを主因に、前年を下回った。



SUWA SHINKIN BANK

## 諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>